

受益者の声（整地）

訓子府町 上杉さん

「丘陵地帯の畑で勾配がきついため「ガリ浸食」が発生。また粘性が強くトラクター(後輪)が埋まるなど機械作業に苦労していた。(1人で脱出するのは大変···)」と上杉さん。10年くらい前よりパワーアップ事業を活用しながら経営規模拡大を図っている。

「勾配を修正したことにより、長辺方向での作付けが可能となった。さらにほ場境界の排水路(トラフ)により隣接地への流出を防いでいる」と、作業条件改善とともに排水や土砂の流出防止への効果も実感されている。



もともとのほ場の差もあるが、昨年はビートの収量差が顕著だった。

「当地区の高台地域(豊坂)は粘土がきついので1度の客土では不十分。1度目は自費、2度目は事業で客土をおこなってようやく大きな効果が得られた。土地改良は一度整備すると終わるというものではないので、事業は継続してほしい。」とのお話をいただきました。各地域やほ場に相応しい整備となるよう努めます。